

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツガミ

コード番号 6101 URL <http://www.tsugami.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役 社長執行役員 (氏名) 西嶋 尚生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部 部長 (氏名) 早崎 敬二

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 03-3808-1711

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	8,573	△56.7	△670	—	△853	—	△1,017	—
21年3月期第3四半期	19,793	—	1,304	—	1,164	—	△454	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△15.17	—
21年3月期第3四半期	△6.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	26,188	18,699	70.7	276.77
21年3月期	25,703	19,718	76.0	289.07

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 18,507百万円 21年3月期 19,531百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△42.7	△500	—	△500	—	△500	—	△7.45

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他を参照して下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	68,019,379株	21年3月期	68,019,379株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,151,498株	21年3月期	453,084株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	67,066,212株	21年3月期第3四半期	67,873,546株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値とは異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国の景気回復を背景にしたアジア向け輸出の増加により一部で生産が回復してきたものの、全体としては依然と低迷が続き、企業の設備投資も底ばい状態が続いております。

工作機械業界におきましても、中国が牽引役となりアジア向けの受注回復が見られるものの、日・米・欧における受注は低迷を続けており、全体としては低調な水準を脱し切れていない状態にあります。

このように低迷する環境下、当社グループは市況が回復してきましたIT関連や中国市場へ積極的に受注活動を行いました結果、直近時の受注は前年を上回ってきております。

これらの結果、当第3四半期は営業利益、経常利益、四半期純利益とも黒字となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は8,573百万円(前年同期間比56.7%減)、営業損失は670百万円、経常損失は853百万円、四半期純損失は1,017百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比485百万円増加し、26,188百万円となりました。

これは主に、投資有価証券が1,570百万円が増加した一方、現金及び預金697百万円、機械装置及び運搬具210百万円、建物及び構築物199百万円が減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末比1,504百万円増加し、7,489百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金1,939百万円、短期借入金200百万円が増加した一方、社債300百万円、賞与引当金102百万円が減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末比1,019百万円減少し、18,699百万円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金が501百万円増加した一方、当期純損失1,017百万円、配当金支払い337百万円、自己株式取得130百万円により減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は70.7%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比697百万円減少し、2,490百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,151百万円の収入となりました。

これは主に、減価償却費556百万円、仕入債務の増加2,012百万円により資金が増加した一方、税金等調整前四半期純損失855百万円、売上債権の増加188百万円により資金が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,246百万円の支出となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出200百万円、投資有価証券の取得による支出1,081百万円により資金が減少したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、581百万円の支出となりました。

これは主に、短期借入の増加200百万円により資金が増加した一方、社債の償還300百万円、自己株式の取得130百万円、配当金の支払い347百万円により資金が減少したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、IT関連や中国における受注は増加してきているものの、日・米・欧における受注が本格回復に到っておりませんので、引き続き現時点におきましては当初予想通りとしております。

また、期末配当につきましても、現時点におきましては当初予想と同様、未定としております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算及び引当金の計上基準等については、一部簡便的な方法を採用しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,540	3,238
受取手形及び売掛金	4,846	4,677
商品及び製品	1,379	1,336
仕掛品	4,295	4,755
原材料及び貯蔵品	2,457	2,088
繰延税金資産	72	122
その他	323	367
貸倒引当金	△67	△100
流動資産合計	15,847	16,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,720	3,919
機械装置及び運搬具(純額)	1,676	1,886
土地	591	591
建設仮勘定	42	18
その他(純額)	177	217
有形固定資産合計	6,207	6,633
無形固定資産	48	43
投資その他の資産		
投資有価証券	3,410	1,840
関係会社出資金	218	218
長期貸付金	2	3
繰延税金資産	280	335
その他	145	111
投資その他の資産合計	4,057	2,508
固定資産合計	10,314	9,184
繰延資産	27	32
資産合計	26,188	25,703

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,068	2,129
短期借入金	700	500
1年内償還予定の社債	300	300
未払法人税等	41	46
製品保証引当金	48	75
賞与引当金	39	142
その他	476	661
流動負債合計	5,674	3,855
固定負債		
社債	900	1,200
退職給付引当金	819	823
役員退職慰労引当金	8	8
その他	87	96
固定負債合計	1,815	2,129
負債合計	7,489	5,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,599	10,599
資本剰余金	4,151	4,138
利益剰余金	4,018	5,373
自己株式	△206	△92
株主資本合計	18,562	20,019
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7	△508
繰延ヘッジ損益	△12	—
為替換算調整勘定	△35	20
評価・換算差額等合計	△55	△487
新株予約権	192	187
純資産合計	18,699	19,718
負債純資産合計	26,188	25,703

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	19,793	8,573
売上原価	15,580	7,010
売上総利益	4,213	1,563
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	645	465
賞与引当金繰入額	10	7
退職給付費用	76	77
役員退職慰労引当金繰入額	4	—
研究開発費	489	551
保険料	71	62
貸倒引当金繰入額	—	29
製品保証引当金繰入額	59	28
その他	1,551	1,011
販売費及び一般管理費合計	2,908	2,234
営業利益又は営業損失(△)	1,304	△670
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	37	26
受取保険金	24	32
助成金収入	—	127
その他	34	93
営業外収益合計	97	279
営業外費用		
支払利息	21	16
手形売却損	70	32
為替差損	106	55
休止費用	—	321
その他	38	36
営業外費用合計	237	462
経常利益又は経常損失(△)	1,164	△853
特別利益		
貸倒引当金戻入額	11	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
固定資産除却損	8	—
固定資産売却損	—	1
減損損失	99	—
たな卸資産評価損	24	—
たな卸資産除却損	31	—
投資有価証券評価損	1,163	—
その他	91	—
特別損失合計	1,419	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△242	△855
法人税、住民税及び事業税	79	51
法人税等調整額	131	93
過年度法人税等	—	17
法人税等合計	211	162
四半期純損失(△)	△454	△1,017

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△242	△855
減価償却費	682	556
投資有価証券評価損益(△は益)	1,163	—
減損損失	99	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△33
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△29	△4
受取利息及び受取配当金	△37	△26
支払利息	21	16
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	1
売上債権の増減額(△は増加)	2,776	△188
たな卸資産の増減額(△は増加)	△293	0
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,957	2,012
その他	△141	△291
小計	1,039	1,188
利息及び配当金の受取額	37	26
利息の支払額	△21	△16
法人税等の支払額	△716	△47
営業活動によるキャッシュ・フロー	339	1,151
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30	△30
定期預金の払戻による収入	30	30
有形固定資産の取得による支出	△543	△200
有形固定資産の売却による収入	163	10
投資有価証券の取得による支出	△1,043	△1,081
貸付金の回収による収入	0	24
その他	△2	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,426	△1,246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,100	1,000
短期借入金の返済による支出	△8,600	△800
社債の発行による収入	1,466	—
社債の償還による支出	—	△300
自己株式の売却による収入	9	0
自己株式の取得による支出	△60	△130
配当金の支払額	△678	△347
リース債務の返済による支出	△1	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,235	△581
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	136	△697
現金及び現金同等物の期首残高	3,352	3,188
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,488	2,490

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

工作機械事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメントの記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	中国 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,658	1,914	8,573	—	8,573
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,887	672	2,560	(2,560)	—
計	8,546	2,587	11,133	(2,560)	8,573
営業利益又は営業損失(△)	△899	216	△683	(△12)	△670

(注) 1. 国別の区分の方法は、事業活動の地域的独立性によっております。

2. 営業費用の配賦方法の変更

当第3四半期連結累計期間のセグメント別営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能費用の金額はありません。

なお、前連結会計年度まで、主に当社本社の総務部門費等管理部門に係る費用を、配賦不能費用として消去又は全社の項目に含めておりましたが、所在地別セグメント管理の重要性が増し、セグメント別の損益をより明確に表示するため、第1四半期連結累計期間より、それぞれの費用の性質に応じ、合理的な配賦基準に基づき、各セグメントへ配賦することに変更しております。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、「日本」の営業費用は468百万円増加し、営業損失は同額増加しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計
I 海外売上高(百万円)	7,043	2,003	1,514	10,561
II 連結売上高(百万円)				19,793
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	35.6	10.1	7.7	53.4

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計
I 海外売上高(百万円)	4,884	499	228	5,611
II 連結売上高(百万円)				8,573
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	57.0	5.8	2.7	65.5

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾、タイ、香港、シンガポール、中国、韓国、インド

(2) アメリカ……………アメリカ合衆国

(3) ヨーロッパ……………ドイツ、スイス、イタリア、フランス

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。